

主な事業内容

1. 法人運営事業

(1) 理事会の開催

社会福祉法人として適正な運営と事業の推進を図るため、理事会を適時開催しました。

第1回 令和元年5月22日

- ①平成30年度事業報告及び決算
- ②令和元年度第1回評議員会の招集について

出席理事10人 出席監事2人

第2回 令和元年6月10日

- ①会長の選定について
- ②副会長の選定について
- ③常務理事の選定について
- ④会長の利益相反行為及び双方代理行為の承認を求めることについて
- ⑤事務局職員就業規程の一部改正する規程の制定について

出席理事12人 出席監事2人

第3回 令和元年11月28日

- ①評議員選任・解任委員会委員の補充選任について
- ②第47回社会福祉大会の開催について

会長・常務理事の職務執行状況報告

出席理事9人 出席監事2人

第4回 令和2年3月26日

- ①訪問介護事業等経営基金の一部処分について
- ②令和元年度資金収支補正予算（第1号）
- ③令和2年度事業計画及び資金収支予算
- ④令和元年度第2回評議員会の開催について

会長・常務理事の職務執行状況報告

出席理事12人 出席監事2人

(2) 評議員会の開催

社会福祉法人として適正な運営と事業の推進を図るため、評議員会を適時開催しました。

第1回 令和元年6月7日

- ①理事の選任について
- ②監事の選任について
- ③平成30年度事業報告及び決算

出席評議員23人 出席理事1人 出席監事2人

第2回 令和2年3月27日（書面によるみなし決議）

- ①訪問介護事業等経営基金の一部処分について
- ②令和元年度資金収支補正予算（第1号）
- ③令和2年度事業計画及び資金収支予算

評議員29人全員書面によるみなし決議

(3) 監事による決算監査

法人運営の適正化を図るため、定期監査を実施しました。

令和元年5月10日 出席監事 2人

(4) 社会福祉基金の管理

社会福祉基金の適正な管理に努めました。

前年度末残高 40,289,380円

利息 4,706円

当年度末残高 40,294,086円

主な事業内容

(5) たかはぎ FM で福祉情報番組「福祉たかはぎ」を放送

社協事業や社協支部活動、ボランティア活動等の情報提供を行いました。
放送時間帯 月曜日から金曜日の午後 0 時 20 分前後(5 分程度)

(6) 社協広報紙「福祉たかはぎ」発行

社協広報紙「福祉たかはぎ」にて、社協事業や福祉情報等を住民に発信し、啓発を行いました。
年 4 回発行 (第 96 号～第 99 号)

(7) ホームページの運営 (<http://www.takahagi-shakyo.jp/>)

社協ホームページにて、社協事業や福祉情報等を住民に発信し、啓発を行いました。

(8) 第 4 次地域福祉活動計画策定委員会の開催

地域福祉を市全域で一体的に進めていくため、高萩市と協働で策定した地域福祉活動計画の進行管理を行いました。

①策定委員 11 人

②委員会 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

令和 2 年 3 月 30 日 (高萩市地域福祉活動計画策定委員に書面報告)

第 2 期高萩市地域計画及び第 4 次高萩市地域福祉活動計画の点検・評価について

2. 地域福祉推進事業

(1) 社協支部役員研修会の開催

社協支部との連携と活性化を目的に研修会を開催しました。

第 1 回 令和元年 7 月 26 日

①ニュースポーツ体験教室 茨城県ニュースポーツ協会

②社協支部助成金等について 社協職員 参加者 46 人

第 2 回 令和 2 年 2 月 18 日

①講話「平常時における防災対策 (高萩市防災マップの活用法)」市危機対策課職員

②事業報告書等の提出について 社協職員

③地域リハビリニュースについて やすらぎの丘温泉病院職員 参加者 37 人

(2) 社協支部活動費交付金の交付 (29 支部)

社協支部が行う地域福祉活動に対し、活動費を交付しました。

第 1 種会員会費 3,445,100 円×80%=2,756,080 円

(3) 社協支部事務費交付金の交付

社協支部に対し、事務費を交付しました。

15,000 円×29 支部=435,000 円

(4) 社協支部敬老行事事業助成金の交付

社協支部が行う敬老行事の実施に対して助成金を交付しました。

27 支部 計 502,994 円

主な事業内容

(5) 在宅高齢者等支援事業助成金の交付

社協支部が行う配食サービス、友愛訪問、ふれあいいきいきサロン事業実施に対して助成金を交付しました。

支部名	内容			金額(円)	
	配食サービス	友愛訪問	ふれあいいきいきサロン		
1	社協高萩支部	-	○	-	38,750
2	社協安良川支部	○	○	○	90,549
3	社協東地区南支部	○	-	-	78,677
4	社協東地区北支部	-	○	-	19,000
5	社協島名下支部	-	○	-	5,850
6	社協向洋台支部	-	-	○	54,300
7	社協秋山上北方支部	-	○	-	4,553
8	社協秋山中支部	-	-	○	42,000
9	社協秋山下支部	-	○	-	3,454
10	社協山手地区北支部	○	○	-	96,258
11	社協石滝支部	-	○	-	5,951
12	社協赤浜支部	-	-	○	3,248
13	社協行人塚石河原支部	-	○	○	14,951
14	社協上手綱下組支部	-	○	-	9,746
15	社協上手綱南組支部	-	○	○	8,715
16	社協上手綱北組支部	-	○	○	22,599
17	社協山手地区南支部連協	-	○	-	55,460
計		3	13	7	554,061

(6) 85歳者敬老祝品(タオル)の贈呈

社協支部の協力のもと85歳者に対し、敬老祝品バスタオルを贈呈しました。

贈呈対象者 199人

(7) 児童養護施設入所児就職・進学支度金支給

児童養護施設に入所する児童に対し、就職進学支度金を支給しました。

50,000円×(就学5人)=250,000円

(8) 地域福祉活動事業補助金の交付

地域福祉の推進を図るため、社協と協働・連携して事業を行う団体に対し、交付しました。

団体名(事業内容等)	金額(円)
障がい者の集い実行委員会(障がい者の集い)	70,000
高齢者クラブ連合会(スポーツ大会、高齢者福祉大会)	50,000
視覚障害者福祉協議会	20,000
母子寡婦福祉会(親子すこやか交流事業、母子草購読料)	82,000
遺族会	20,000
計	242,000

主な事業内容

(9) 災害見舞金の支給

市民が災害を受けたときに被災者に対して災害見舞金を支給し、市民の生活安定と福祉の増進を図りました。

区分		件数	金額 (円)
火災	全焼	1	20,000
	半焼	1	10,000
	死亡	0	0
計		2	30,000

(10) 第 47 回高萩市社会福祉大会の開催

社会福祉事業に功労のあった者、社会福祉活動が優秀な社会福祉団体及び社会福祉活動に協力援助した功績顕著な者を顕彰し、社会福祉の進展に資することを目的に開催しました。

令和 2 年 2 月 2 日 総合福祉センター多目的ホール

①式典 高萩市社会福祉協議会会長表彰及び感謝

- ・社会福祉協議会支部役員 9 人
 - ・社会福祉施設の職員 9 人
 - ・社会福祉団体の役員 6 人
 - ・団体会員 3 人
- 受賞者 27 人

②アトラクション「ハッピー スマイル フェスティバル」高萩市立松岡幼稚園児

参加者 240 人

(11) 第 69 回茨城県社会福祉大会への参加

社会福祉事業に功労のあった者、社会福祉活動が優秀な社会福祉団体及び社会福祉活動に協力援助した功績顕著な者が顕彰されました。

令和元年 10 月 25 日 「ザ・ヒロサワ・シティ会館」

茨城県知事表彰 受賞者 11 人

茨城県社会福祉協議会会長表彰 受賞者 21 人 ※台風 19 号接近に伴い中止

(12) 高萩市総合防災訓練に参加

高萩市総合防災訓練の実施に合わせて、災害ボランティアセンター設置訓練を実施。

令和元年 10 月 13 日 高萩市立秋山小学校

※台風 19 号接近に伴い中止

(13) コミュニティサロン活動支援事業

サロンの立上げや運営に関する相談のほか、活動費の助成や支援を行いました。

	サロン名	開催場所	金額 (円)
1	野の花サロン	和野集会所	17,500
2	下組サロン	下組生活改善センター	30,000
3	しましまサロン	向洋台集会所	30,000
4	高浜ハッピーサロン	高浜住宅集会所	27,500
5	サロンはまなす会	駒形集会所	30,000
6	友遊千代町サロン	千代町集会所	25,000
7	サロンアジサイ会	千代田集会所	30,000
8	サロンさわらび	代表宅 (中戸川)	30,000
9	まちなかサロン	高萩やすんでっ亭	15,000
10	サロンはぎのさと	副代表自宅	17,500
合 計			252,500

主な事業内容

コミュニティサロン交流研修会

令和2年2月27日

①バルーンアートの作り方 ②情報交換 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(14) 共同募金配分調査

民生委員の協力により、共同募金配分世帯等の調査を実施しました。

(15) 歳末たすけあい募金配分金

支援を必要としている世帯等への見舞金や年末年始に交流事業等を実施した団体に対して配分を行いました。

対 象	対象者数等	金額(円)
要援護世帯	3 世帯	34,000
要援護一人暮らし高齢者世帯	3 世帯	30,000
児童養護施設入所児	69 人	345,660
歳末福祉対策事業	29 支部・1 連協	1,115,930
社会福祉施設餅米配分経費	市内 10 施設	32,430
福祉団体支援事業	7 団体	285,150
福祉情報提供(広報)事業		654,580
計		2,497,750

(16) 低所得世帯等に対する小口生活資金の貸付及び援助指導

福祉相談窓口として、生活不安を抱える低所得世帯の経済的自立を支援するため、福祉資金貸付の適正な実施に努めました。 相談 2 件、貸付 1 件 (貸付金 5,000 円)

(17) 生活福祉資金の貸付相談及び状況調査 (県社協受託事業)

貸付相談窓口として、生活福祉資金貸付相談の適正な実施に努めました。また、民生委員の協力のもと貸付者の状況調査を実施しました。 貸付相談 5 件、貸付件数 1 件 (貸付金 200,000 円)

(18) 生活支援体制整備事業への参加

日常生活上の支援体制の充実及び高齢者の社会参加の促進を図っていく、生活支援体制整備事業の第2層協議体運営業務を実施しました。

①第2層協議体(秋山中学校区) 秋山小学校児童クラブ

第1回 令和元年6月3日 参加者(協議体メンバー7人、高齢福祉課職員3人、社協職員4人)

第2回 令和元年9月30日 参加者(協議体メンバー7人、高齢福祉課職員2人、県社協職員1人、社協職員2人)

第3回 令和元年12月9日 参加者(協議体メンバー6人、高齢福祉課職員1人、社協職員2人)

第4回 令和2年3月2日 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

②第2層協議体(松岡中学校区) 松岡小学校児童クラブ

第1回 令和2年2月17日 参加者(協議体メンバー7人、高齢福祉課職員3人、社協職員4人)

3. ボランティア活動推進事業

(1) 社協ボランティアセンター運営委員会の開催

地域におけるボランティア活動の振興と市民の善意を適正かつ効果的に活用するため、運営委員会を開催しました。

第1回 令和元年7月9日

①平成30年度善意銀行預託及び配分実績報告について

②令和元年度善意銀行預託及び配分中間報告について

③令和元年度善意銀行配分について

主な事業内容

第2回 令和2年3月12日

- ①令和元年度善意銀行預託及び払出状況報告について
- ②令和元年度事業及び決算見込報告について
- ③令和2年度事業計画及び予算について(案)
- ④令和2年度善意銀行配分(各種団体の事業)について(案)

(2) 善意銀行預託者(香典返しの一部)への回転灯籠、線香贈呈

預託者(香典返しの一部)に、故人の新盆前に回転灯籠、線香の贈呈をしました。

線香6件 回転灯籠5件

(3) ボランティア活動保険料助成

ボランティア活動保険の加入受付及び保険料の助成を行いました。

プラン	加入者数(人)	市社協助成(円)	加入者負担(円)	合計(円)
基本タイプ	548	54,700	139,020	193,720
天災タイプ	7	700	3,640	4,340

(4) 児童・生徒のボランティア活動普及事業協力校の指定と支援

社会福祉の理解と関心を高め、ボランティア実践、社会連帯の精神を養成するため、児童・生徒のボランティア活動普及事業協力校を指定し、児童・生徒を通じて家庭及び地域社会への啓発を図りました。

指定校9校(市内小学校4・中学校3校・高校2校)

(5) 小学生福祉体験学習の開催

小学生を対象に社会福祉への理解と関心を高め、福祉の芽を育てることを目的に開催しました。

令和元年8月7日

①講話「アイメイトと二人五脚」

講師 佐藤 由紀子 氏、盲導犬ライムちゃん

②高齢者・障害者疑似体験、車椅子体験、ブラインドウォーク体験

協力団体 高萩市高校生会 参加者 小学6年生30人

(6) 中学生福祉体験学習の開催(障がい者サポーター養成講座同時開催)

中学生を対象に社会福祉への理解と関心を高め福祉の芽を育てることを目的に開催しました。

令和元年8月8日

①障がい者サポーター養成講座 講師 市社会福祉課職員

②点字体験 講師 たかはぎ点訳友の会

③障がい者等疑似体験 講師 社協職員

④介護体験 講師 社協介護支援専門員、サービス提供責任者

協力団体 高萩市高校生会 参加者 中学生23人

(7) ボランティア連絡会への補助及び協力

ボランティア連絡会に補助金を交付し、ボランティア活動の活性化を図りました。

①視察研修の実施

令和元年9月26日 防災科学技術研究所(つくば市) 参加者42人

②福祉のまちづくり研究集会(ボランティア交流会)

令和2年2月29日 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

講演「地域の力、私たちにできること」

講師 日本カウンセリング学会認定カウンセラー 武藤 幸枝氏

主な事業内容

(8) ボランティアグループ活動費助成

ボランティアグループに助成金を交付し、ボランティア活動の活性化を図りました。

	ボランティアグループ名	助成金 (円)
1	たかはぎ食事サービスグループ	13,100
2	たかはぎ読み聞かせグループ	10,900
3	高萩手話サークル	11,300
4	たかはぎ点訳友の会	11,000
5	ボランティアグループ歩み会	10,700
6	高萩レインボーおはなしの会	10,600
7	高萩市シルバーリハビリ体操指導士会	16,400
8	高萩市高校生会	12,100
9	傾聴よりそいグループ	11,300
10	高萩ひまわりグループ	10,900
	計	118,300

(9) ボランティア入門講座

ボランティア活動へのきっかけづくり、ボランティア活動に対する理解を深めていただくためにボランティア入門講座を開催しました。

令和元年8月27日 ①障がいについて知ろう (障がい者サポーター養成講座)

②手話ボランティア体験

参加者 20人

(10) 障がい者サポーター養成講座

養成講座を通して、障害のある方の立場になって考えるとともに、そのサポート方法を学ぶことで、障害に対する理解を深めることを目的として、市社会福祉課と共催で開催しました。

①令和元年8月8日 参加者19人

②令和元年8月27日 参加者20人

(11) ふくしボランティアまつりの開催

まつりを通して、ボランティア活動や福祉活動への理解と交流の場を提供することを目的として開催しました。

令和元年10月27日 総合福祉センター、来場者数 約800人

公演、福祉体験コーナー、福祉活動パネル展示コーナー、フリーマーケット

工作体験コーナー、防犯と青少年健全育成キャンペーン等 実行委員会の開催 (3回)

(12) 防災ボランティア研修会の開催 (日本赤十字社茨城県支部高萩市地区と共催)

災害時に必要な知識や技術をもって対応していただける防災ボランティアを養成することを目的として開催しました。

令和元年11月20日 総合福祉センター

①講義「災害時におけるボランティア活動について」

②実技「三角巾を使用した包帯法」

講師 赤十字防災ボランティア、赤十字短期講習指導員 参加者 30人

(13) 音訳・点訳広報等発行事業

市内の視覚障がい者等に市報、議会だより、福祉たかはぎを音訳、点訳して情報提供しました。

音訳サービス 高萩読み聞かせグループ 利用者6人

点訳サービス たかはぎ点訳友の会 利用者3人

主な事業内容

(14) 総合学習等への講師派遣

総合学習の時間等に登録ボランティアグループ、社協職員を派遣し、福祉体験学習を実施しました。
 ・幼稚園(3園)へ読み聞かせグループ、ぱっくん人形劇の2団体を派遣
 ・小学校(3校)へ社協職員を派遣

(15) 災害時支援に関する協定に基づく被災地への職員派遣

大子町社会福祉協議会に職員を派遣し、災害ボランティアセンター運營業務を支援しました。
 ・派遣日数 35日 派遣延人数 36人

(16) 福祉体験用具の貸し出し

福祉体験学習等を実施する学校や団体等に体験用具の貸し出しを行いました。
 車イス、シニア体験セット、視覚障がい者体験セットの貸し出し6件(小学校4件、高等学校1件、市高齢福祉課1件)

(17) 善意銀行運營業業

市民の善意を適正かつ効果的に活用するため、適正な運営に努めました。

(預託)

区分	件数	金額(円)
金員	33	811,544
物品※	3	—
計	36	811,544

※未使用タオル、もち米

(配分)

区分	件数	金額(円)
指定		
社協向洋台支部	1	30,000
社協東地区南支部	1	30,000
社会福祉団体等		
子ども会育成連合会(サマージャンボリー)	1	99,200
子ども会育成連合会(萩っ子歴史探検隊)	1	48,000
青少年相談員協議会(少年探検講座「花貫の自然を探る」)	1	6,300
より道サロンケセラセラ	1	25,000
社協事業		
心配ごと相談所運営費	1	460,264
在宅福祉サービスセンター運営費	1	400,601
ボランティア協力校助成金	8	160,000
社会福祉大会経費	4	45,164
児童施設入所児童就職進学支度金	4	200,000
85歳者敬老祝品(タオル)の贈呈	195	289,770
計	209	1,794,299

前年度末残高	8,202,455円
預託金	811,544円
配分金	1,794,299円
当年度末残高	7,219,700円

主な事業内容

- (18) 使用済み切手、使用済みプリペイドカード、プルタブ、ペットボトルキャップの収集
 市民や学校、企業、団体の方々より、多くの物品の収集にご協力をいただきました。
 使用済み切手と使用済みプリペイドカードは、茨城県社会福祉協議会へ、プルタブとペットボトルキャップは、回収業者を通して、ボランティア活動や社会貢献活動に協力しました。

4. 在宅福祉サービス推進事業

(1) 暮らしに活かす介護講習会

福祉・介護分野に関する知識や技術を提供し、福祉・介護人材の参入促進を図る。

令和2年3月3日 総合福祉センター ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

①講義・実技「家庭で実践できる介護技術の基礎」

(2) 「食」の自立支援サービス事業（配食サービス事業）

たかはぎ食事サービスグループと運転ボランティアの協力のもと、おおむね 65 歳以上の一人暮らし高齢者や高齢者世帯を対象に、月に 1 回ボランティアの手作りによるお弁当を提供するとともに利用者の安否確認を行いました。

実施状況 年間実利用者数 158 人

	4月	5月	6月	7月	9月	10月
利用者数	122	122	120	117	116	116
利用料金	18,000	17,800	17,800	16,900	16,400	16,600

11月	12月	1月	2月	3月	計
123	118	121	126	—	1,201
17,300	16,800	17,300	18,000	—	172,900

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため3月中止

(3) 在宅福祉サービスセンター運営事業

住民参加による支え合い活動として、利用会員・協力会員の登録によるサービスの実施とコーディネーターによる相談・調整支援を実施しました。

①会員・利用者の構成

登録協力会員(人)	登録利用会員(人)	実利用者(人)
35	143	20

②利用状況

サービス名	在宅福祉サービス	
	回数	時間
掃除	384	460
買物	197	206
食事	118	118
通院・外出付添い	22	46
計	721	830

主な事業内容

③協力会員研修会の開催

第1回 日時 平成31年4月18日

場所 高萩市総合福祉センター2階研修室

内容 赤十字幼児安全法短期講習（こどもの病気と看病について）

参加人数 8人

（4）ファミリーサポートセンター事業

住民参加による支え合い活動として、利用会員・協力会員の登録によるサービスの実施とアドバイザーによる相談・調整支援を実施しました。

①会員・利用者の構成

登録協力会員(人)	登録利用会員(人)	実利用者(人)
39	38	5

②利用状況

サービス名	在宅福祉サービス	
	回数	時間
保育施設等までの送迎	147	78
乳幼児、児童の一時預り	4	9
計	151	87

③協力会員研修会の開催

第1回 日時 平成31年4月18日

場所 高萩総合福祉センター2階研修室

内容 赤十字幼児安全法短期講習（こどもの病気と看病について）

参加人数 11人

④事務局体制 ファミリーサポートセンターアドバイザー 1人

5. 心配ごと相談所運営事業

（1）心配ごと相談所運営事業

市民の生活上の様々な相談を受け、必要に応じて関係機関を紹介するなど、適切な助言、援助を行いました。

①開設日 毎月2回 木曜日（内月1回弁護士相談）

一般相談 2回、法律相談 11回

②相談員 民生委員児童委員4人、弁護士3人

③相談内容

相談事項	財産	家族	離婚	住宅	事故	職業 生業	生計	衛生 精神	人権 法律	その 他	計
相談件数	11	8	7	4	2	2	4	1	4	5	45
（内弁護士 相談件数）	11	8	7	4	2	1	4	1	4	3	42

主な事業内容

6. 日常生活自立支援事業

(1) 日常生活自立支援事業

認知症高齢者、知的障害者、精神障害者など判断能力が不十分で、かつ親族等の援助が得られない方に対して、福祉サービスの利用手続きの援助や日常生活の金銭管理援助及び書類等の預かりサービスなどを行い、自立した地域生活が送れるよう在宅での日常生活を支援しました。

①実施利用状況

○相談援助件数(問い合わせ・相談援助件数)

認知症高齢者等 52 件・知的障がい者等 20 件・精神障がい者等 21 件・不明、その他 1 件
計 94 件

○契約締結件数 0 件

○終了件数 0 件

○実利用件数 (3 月末日現在)

認知症高齢者等 2 件・知的障がい者等 1 件・精神障がい者等 1 件 計 4 件

②事務局体制

専門員 1 人、生活支援員 2 人

7. 子どもの学習支援事業

(1) 子どもの学習支援事業

生活困窮世帯等の児童・生徒に対し、学習支援や進学に関する助言等について、ボランティアの講師が、毎週 1 回、市中央公民館会議室で実施しました。

①実施利用状況

○実利用者(生徒)数 34 人

学年	小 4	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3	計
生徒数	5	3	1	11	6	8	34

○延利用者数 402 人

実施月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
延利用者数	30	45	31	44	25	38

10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
38	37	41	36	43	—	408

○ボランティア講師 13 人

○実施回数 年 45 回

主な事業内容

8. 介護保険事業

(1) 訪問介護事業

利用者が有する能力に応じ、可能な限り自立した日常生活が営むことが出来るよう利用者の選択により、身体介護や生活援助等のサービスを提供しました。

①契約者数 59人

②提供時間 身体介護 624時間、生活援助 3,226時間、身体生活 727時間

③ホームヘルパー研修会開催及び参加

○内部研修

第1回	平成31年 4月 18日	ケースカンファレンス	出席者 9人
第2回	令和元年 5月 16日	ケースカンファレンス	出席者 10人
第3回	令和元年 6月 20日	ケースカンファレンス	出席者 8人
第4回	令和元年 9月 19日	ケースカンファレンス	出席者 8人
第5回	令和元年 10月 17日	ケースカンファレンス	出席者 10人
第6回	令和元年 11月 21日	ケースカンファレンス	出席者 9人
第7回	令和2年 1月 16日	ケースカンファレンス	出席者 12人
第8回	令和2年 2月 20日	ケースカンファレンス	出席者 10人
第9回	令和2年 3月 12日	ケースカンファレンス	出席者 11人

④事業所体制 サービス提供責任者 2人、ホームヘルパー13人

⑤訪問介護事業等経営基金の管理

ホームヘルプサービス事業所及び指定居宅介護支援事業所が行う訪問介護事業所等の健全な経営に努めました。

前年度末残高	15,049,468円
利息	1,509円
訪問介護事業等経営基金取崩額	3,000,000円
当年度末残高	12,050,977円

(2) 居宅介護支援事業

利用者並びにその介護者等の日常生活支援のため、関係機関、事業所と連携し、適正なケアプランの作成に努めました。

また、予防プランの作成及び、要介護認定調査を受託事業として実施しました。

①指定居宅介護支援事業

○介護支援 ケアプラン策定者数 51人

○介護予防 介護予防ケアプラン策定者数 13人

○令和元年度新規契約者数 19人

○他市町村被保険者認定調査数 3人(いわき市3人)

②事業所体制 介護支援専門員1人

主な事業内容

9. 障害福祉サービス事業

(1) 障害福祉サービス事業

障がい者が、居宅において日常生活を営むことが出来るようその障がい者の状況及び環境に応じて、身体介護やの家事援助等のサービスを提供しました。

①障害福祉サービス事業

○契約者数 2人

○提供時間 身体介護0時間、家事援助263.5時間

②障害者等移動支援事業

○契約者数 0人

○提供時間 移動支援0時間

③内部研修

第1回	平成31年4月18日	ケースカンファレンス	出席者9人
第2回	令和元年5月16日	ケースカンファレンス	出席者10人
第3回	令和元年6月20日	ケースカンファレンス	出席者8人
第4回	令和元年9月19日	ケースカンファレンス	出席者8人
第5回	令和元年10月17日	ケースカンファレンス	出席者10人
第6回	令和元年11月21日	ケースカンファレンス	出席者9人
第7回	令和2年1月16日	ケースカンファレンス	出席者12人
第8回	令和2年2月20日	ケースカンファレンス	出席者10人
第9回	令和2年3月12日	ケースカンファレンス	出席者11人

④事業所体制 サービス提供責任者2人、ホームヘルパー13人